

天主閣

だより

マキキ聖城キリスト教会



「無牧はチャンス」

土屋 一 牧師

「牧師の就任式は、何度かあるかも知れないが、按手式は唯一度だけよ。」

今から四一年前、一九七六年八月一日(日)、その一度限りの按手礼を受けた時、マキキのカウンシルチェアパーソンだったLeatrice 平野姉が言われたことを、今も鮮明に覚えています。久しぶりに、お里帰りして夜遅く空港に出迎えてくださった具志堅先生始め、旧知の兄弟姉妹方、新しく知り合った兄弟姉妹方から頂いた数々の美しいレイや、忘れ難い御親切に籠められたアロハに、先ず心よりマハロ!

フラー神学校の懐かしいクラスメート、Fiona 吉田牧師は、過去五ヶ月に二五回の葬儀を司式されたそうですが、その理由は「無牧」の教会が増えたことにある由。この度のマキキ訪問では、当然のことながら、「無牧」という言葉をしきりに耳にし、また眼にして、いろいろなることを考えさせられました。その一つをシェアさせていただければ、どの教会にとっても深刻な問題である「無牧」は、チャンスでもあり得るということなのです。



「無牧」とは、小牧者の不在を意味しますが、「永遠の契約の血による大牧者」(ヘブル一三章二〇節)は、常に臨在されるからです(マタイ二八章一八―二〇節、ヘブル一三章五節)。「無牧」は、ともすれば小牧者を仲介として接しがちな大牧者と、個人的に親しく交わり、使徒パウロの切なる願いを自分自身のものとするチャンスです。「私の願いは、キリストをさらに深く知りたいたいということであり、キリストを復活させた超自然の力を体験すること、つまりキリストの苦しみにあずかり、生まれながらの利己的な自分に死んでキリストと共に死人の中から復活し、命に溢れるという体験を続けることである。」(ピリピ三章一〇―一一節 現代訳)

「無牧」は又、ミニチャーチを一層活性化させ、すでに皆さんがなさっている「互いに愛し合い、祈り合い、励まし合い、助け合う」相互牧会に拍車をかけるチャンスでもあります。

大牧者イエス・キリストに選ばれ、聖別された日本語部の第一三代目 小牧者は、すでに舞台の袖で、主の時を待っています。牧師サーチ委員会の方々が、全会衆の祈りに支えられ、御霊と御言葉に導かれて、その器(うつわ)を特定されると信じ、期待しています。

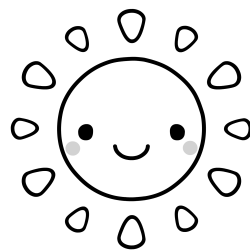
エベン・エゼル(助けの石) 「(主)まで主が私たちを助けてくださった。」(第一サムエル記七章一二節)
覚えていますか、三つのキーワード?
顧り見つつ、望み見つつ、昨日も、今日も、永遠に変わらない助け主を、仰ぎ見つつ、厳しいチャレンジと、新しい可能性にふくらむマキキの明日に向かって、足並みを揃え前進されますように シャアローハ!

今月の言葉

人生は胸躍るものです。そしてもともとワクワクするのは、人の為に生きるときです。

あなたは困難な仕事を自分に課しましたが、諦めずに頑張れば、うまく行くのです。そして、成功への障害を克服することが喜びとなるでしょう。

ヘレン・ケラー



今後の予定

☆九月の礼拝 メッセージ

三日(日) グロリア・今村牧師
十日(日) 黒田撰宣教師
十七日(日) グレイグ・ポーター兄
二十四日(日) 山田エノク兄

☆マキキ・フェスティバル

十月七日(土) 朝九時より午後一時
名物のフード・コーナー、ホワイト・エレファント、キッズ・コーナー、など、ご家族で楽しめる年に一回のイベントです。

テリーさんの簡単クッキング

ひじきの五目炒め煮 四人分

材料: ひじき(乾物) 32g 一袋、ピーマン 2個、干しいたけ 2個、ちくわ 1本、人参 60g 1本、れんこん 150g
ソース: みりん、さけ各大さじ1、砂糖大さじ1/2、しょうゆ大さじ3強

- ① ひじきは洗い、水に 15 分から 20 分浸してもどし、水気をきり、しいたけも水でもどし、千切り、人参は長さ 4 センチ、幅 1 センチの短冊切りにする。
- ② ピーマンは縦半分に切り種を取り、斜め切りに、ちくわは 1 センチ厚さに切り、れんこんは皮をむき、7-8 ミリの半月切りに。
- ③ 鍋にサラダ油を熱して、ひじきを入れ炒め、人参、しいたけ、れんこんと水 2 カップを加え煮立て、酒、みりん、砂糖、しょうゆを加え、落としふたをして中火で 10 分強煮る。ちくわを加え、火を強め、汁をとばす。
- ④ 最後にピーマンを加え、さっと混ぜ汁をからめる。



今月の証

「今あるは主の恵」

三原 クララ

私にはレイモンド・ベティ佐藤というこの夫婦がいます。いつも「マキキ教会に来なさい」とすすめる彼らに「行くのなら家の近くの教会に行くわ」と言っておりました。

数か月後、レイモンドの東京に居るお母さんが突然亡くなり、マキキ教会で告別式をすることになり、思いがけなく私はマキキ教会に来ることになったのです。告別式に参加した私はこの教会に来てみようと思ひ、レイモンドに話すと大喜びでした。二世の私は英語部の礼拝に早速次の日曜日から出席し始め、一か月程過ぎた頃、何も心を満たすものも感じれず、「どうしてこんな所に居るのかしら・・・」ともう来るのを止めようと思ひました。

レイモンドが日語部の牧師先生と一緒にすすめてくれたので、「もし日語部へ行ってみて、同じ気持ちだったら絶対に教会に来ない」と思ひながら日語部に行つたのです。

初めて行つた日語部では、ミスター山口がいつも「いらつしやい」と暖かく迎えて下さりその暖かさのおかげで続けて来ようと思へたのです。ある時「礼拝の時の当番をお願いします。」と頼まれ、何も分かりませんでした。心込めてお手伝いを致しました。いつものように「私は何をしましょうか」とたずねたところ「あなたの名前は週報に書いてありませんよ」と言われ、馴れないながらも一生懸命だった私はガツカリして、「本当に何か奉仕をしたかったのにこんな扱いをする教会には居たくない。」と大変傷ついて家に帰ってしまいました。

聖書の知識も何一つもっていない私でしたが、英語の聖書の裏表紙の「悲しい時に」「淋しい時に」とある指示通りに聖書を開いてみましたが、何一つ慰めを得ることは出来ませんでした。やっぱり、神様は私を助けてなど下さらないのか・・・とミシンの前に座ると一日中、なんとも言えないまるで天国からのメロディかと思える曲が聞こえてきたのです。

私は何の曲かをたずねるために一生懸命覚え、次の日曜日、教会で「私は神様からこの歌をいただきました。何の曲でしょう。あれば歌ってください。」とお願ひしたところ聖歌の中の一つでした。

昨日も今日もとわに変わりなき

イエスのみ言葉の慕わしき

赦しと癒しを今日もなお

イエスは変わりなく与え給う

よし世の全ては変わるとも

変わり無きイエスに栄えあれ

栄えあれ、栄えあれ

変わり無きイエスに栄えあれ



この歌で私の心は慰められ、そのいきさつを知つた牧師先生も手違ひのあつたのは悪かつたと言つてくださり、私も「こだわりを捨てましょう」とその日から思ひました。

そして二か月後の一九七七年九月十一日にアラモアナビーチで受洗。その日は本当に嬉しかったです。こんな傷つきやすかつた私が今人は人のお世話をする身に変えられ、感謝でいっぱいです。

「神の恵みによつて、私は今日あるを得ているのである」(第一コリント十五章十節 口語訳)

一九九一年 十一月の天主閣便りより転載

親子会便り

長い夏休みが終わり、親子会も九月十一日(月)から始まります。今年度もたくさん可愛い子供たちと親御さんが集まって賑やかな声が聞こえてくるでしょう。親子会では、多くのボランティアを必要としています。子供が大好きな方、一緒にご奉仕しませんか？

のぞみの会便り

「今日あなたのハッピー・スケールはどのくらいですか？」私達のスケールがどうであっても、聖書は「神の国は、あなた方のただ中にあるのです。」と言います。私達の直面している現実がどのようであつたとしても、その中に神の国はある。

- 一、神の国とはあなたの現実の中にある。
- 二、信仰によつてあなたは神の国に生きる。
- 三、あなたもその神の国に招かれています。

希望がたくさんの、のぞみの会に一度いらして下さい。そこには神の国があります。

毎週 水曜日 午前九時より
ランチ(有料)あり

お祈りの方法

「どんな風にお祈りをしたらよいかかわらない」という声を聞きます、例えばこのように祈ることが出来ます。

祈り
いつも同じことを繰り返しているあなたの祈り

主よ わたしのこの退屈な仕事を祝してください。

そのいくつかを今やつと終えたところでは、いつもの同じベッド、それは夜ごと枕するところでは、いつもの同じ皿、それは日ごとの糧を盛るものです。

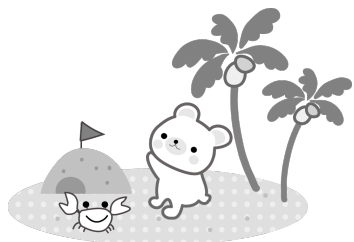
いつも繰り返す日常茶飯事 主よ感謝です。

それは安定した 日々なすべき 私の仕事なのです。

編集後記

今月号は先日礼拝でもメッセージをして下さつた前々牧師の土屋先生のメッセージをいただきました。また証は、当時の信徒故三原クララ姉の証をあわせて掲載しました。証はいつの時代にも新鮮で、色褪せることがないため、ためて感じました。皆さんも一度イエス様を信じた体験を文字にしてみませんか？

玉寄 朋子



責任者 マキキ聖城キリスト教会 宣教部
編集 玉寄朋子 大塩直子
レイアウト 大塩麻由